

# 地域活性化という「遊び」

64

京都市  
福知山市 「みわ・ダツシュ村」から

山本晋也

寂しいことに今月末

また集落のお年寄りが  
ホームへ入られることになり  
ささやかですが  
みんなで送別会を企画させていただ



少し元気のなかったお二人もみるみる笑顔に。

きました。

食事はもちろん子たちの手作り  
今回もメニューは  
全て子たちに考えてもらいました。

集落でつくった野菜とお米  
集落で獲った鹿とイノシシ。

お米は集落の水を使い  
やわらかめに炊飯。

お肉は  
お年寄りにも食べやすいように  
ミンチにしてハンバーグですが

鹿、イノシシだけでは  
食感が硬くなりやすいので

合挽きミンチやつなぎ  
こね方を工夫してあり

とてもふっくら焼けていました。

ソースの甘みには  
子たちが集めた日本ミツバチの蜜。

つなぎの卵は

ヒナから育てた鶏が産んだもの。  
自分たちで仕込んだ味噌をつかった  
味噌汁。

お茶、お漬物も自家製。  
そして

みなさんから何度もリクエストいた  
だいたグラタン。

日常和食が多いせいにか  
たまの洋食は

とてもよろこばれるようです。  
最後は自家焙煎コーヒーとシューク  
リームで締めました。

送別会としては

フアマリレストランでも  
食べられそうな

ごく普通の洋食メニューですが

## 「あー稲葉の匂いがする」 ホームに行くお年寄りの送別会

このなかにはこの集落で過ごした  
僕らの12年間全てが  
つまっています。

最近我が家は毎日夕食当番を決め  
一人でメニュー、調理、後片付けと  
日々の食事を本番に見立てた練習を  
重ねていることもあり

クオリティーはばっちり。  
食べていただいたお年寄りも  
みるみる笑顔になって

「あー稲葉の匂いがする」  
といただいた言葉に

この集落で過ごした日々や  
子たちのこれまでの

頑張りを思い出し  
おもわず涙が溢れました。

ホームへ入られるお二人  
最近のはめつきり体力落とされ  
いろいろ忘れっぽくなっておられた

そうですが

食事中はとても元気に  
お二人の子供のころのお話や



稲葉オールスターズ集合！



子たちの全てを込めたハンバーグ。



行事などの写真を見ながら思い出話。

うちの子たちが自転車で  
田んぼに突っ込んだことなど  
いろいろ思い出話で盛り上がり  
食後は

「晩飯もここでよばれて帰ろかな」  
なんて冗談もとびだしました。

最後はみんなで集合写真を撮り

食事の写真や

集落の行事や日常の風景も

まとめてアルバムにして

末娘の元気が集落で集めた花で作っ

た花束と一緒に

お渡ししました。

お渡ししました。

僕 たちとしては

今できる精一杯のことで

お二人に12年間のお礼をしたい。

ただそれだけを考えて

食事代等は一切いらないつもり

でいたのですが

後日お二人から

子たちにお小遣いとしてでもよいか

らどうしても受け取ってほしいと

何度もお申し出があり

断り続けていたのですが

最後はお二人のお気持ちとして

ありがたく頂戴

することにしました。

ホームには町内のお友達もたくさん

おられるようですが

お二人の笑顔にまた会いたいの

で稲葉のみんな

訪問したいと思えます。